



K 中 通 信

学校だより 7号
平成29年9月19日
横浜市立軽井沢中学校

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

【学校教育目標】 『心豊かにたくましく生きる生徒の育成をめざします』

- 学ぶことの楽しさを知り、創造的に考える力を育てます (知)
- 自他の生命を尊重し、礼儀と思いやりをもって行動する力を育てます (徳・体)
- 多様な文化を理解し、地域や社会に積極的にかかわり貢献する力を育てます (公・開)

うさぎ うさぎ なに見てはねる 十五夜お月さま 見てはねる



校長 星野 久美子

一度は口ずさんだことがあるわらべ唄ですが、十五夜とは旧暦八月十五日の夜を指し、「中秋の名月」または収穫した農作物を月に捧げる風習から、「芋名月」と呼ばれています。十三夜という言葉もありますが、こちらは旧暦九月十三日の夜を指し、「栗名月」と呼ばれています。昔のお月見は十五夜と十三夜のセットで行われ、片方だけ見るのは「片見月」といって縁起が悪いとされていました。

今年の十五夜は10月4日(火)、十三夜は11月1日(水)です。たまには夜空を見上げ、美しい満月の表情を楽しんでみませんか？

ふれあい☆みやがやまつり

次代を担う児童・生徒をはじめとする青少年が自立心を持ち、人間性豊かに育つことを目的として、軽井沢中学校区(宮谷小学校・軽井沢中学校)では学校・家庭・地域が連携して様々な事業を実施しています。今年度は、すでに創立記念行事でのハマノ愛生園との交流や、軽井沢公園花植え活動、保護者・教職員による祭礼パトロール、盆踊りやスポーツ交流会、地域防災拠点訓練への生徒ボランティア参加に取り組んできましたが、今後、健民祭、宮谷小スポーツフェスタへの教職員・生徒ボランティアの参加、K中祭文化祭部門、人権講演会、職業体験、地域清掃などが予定されています。

このように様々な事業がある中で、最も大きなものが9月23日(土)に宮谷小学校で行われる「ふれあい☆みやがやまつり」です。この催しは宮谷小学校 PTA と軽井沢中学校 PTA の共催行事となって6年目を迎えました。実行委員会形式で運営され、学校関係だけでなく、地域の方々や地域に関わる消防団、郵便局、資源循環局など様々な団体が参加し、ますます地域の行事として親しまれるものとなっています。

横浜の教育が目指す人づくりとして、「自ら学び 社会とつながりともに未来を生きる人」という言葉があります。変化の激しい現代社会において、「自ら学び 社会とつながる」チャンスは、案外この催しのように身近にある「様々な年代、立場の人々が混ざり合う」場にあるのではないのでしょうか。

軽井沢中学校の生徒たちは、ボランティアスタッフとして参加します。接客のマナーを身に付けたり、支出や収入を計算したりすることで経済の基礎を学ぶなど様々な学びがあります。また、多くの人たちとコミュニケーションを取る中で、人とつながり地域社会に参画することの意義や楽しさを感じて欲しいと思います。

未来を担う子どもたちの健全育成の場に、多くの人々の参加をお待ちしています。



市民病院 新病院建設工事 起工式



9月7日横浜市立市民病院の起工式が行われ、地域関係者として式典に参加しました。市民病院は1960年に開院し、横浜市の基幹病院として医療を提供してきましたが、施設・設備の劣化が進むとともに医療の高度化に対応するため、このたび再整備工事が始まりました。

2020年度には、現在の三ツ沢公園野球場付近に、公園との調和を図った新市民病院が完成する予定です。工事現場付近は往来する車両の増加が見込まれます。登下校の際は充分注意して通行しましょう。